



# 一教員として考える 学術リポジトリ

筑波大学ビジネスサイエンス系

朱 藝

2018年度第1回機関リポジトリ新任担当者研修

# 発表内容



- 自己紹介
- 大学を取り巻く環境の変化
  - 若手教員の研究に対する考えの変容
- 若手教員のキャリアパス
  - リポジトリとの関連性
- 事例：筑波大学のリポジトリ
- まとめ
- 質疑応答



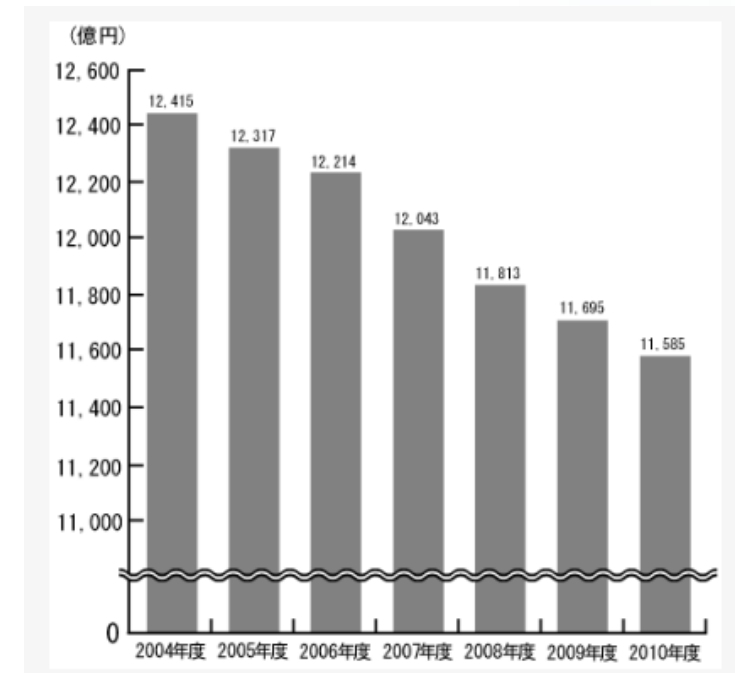
# 自己紹介

- 朱 艺(藝) しゅ いい Zhu, Yi
- 筑波大学ビジネスサイエンス系助教
- 若手教員
- 2017.10 ビジネスサイエンス系へ異動
- 専門: ビジネスエスノグラフィー
- 職歴: 九州大学→筑波大学(4年目)
- 中国→日本→中国→日本→香港→日本→?

# 大学を取り巻く環境の変化

## 1. 社会の変容

- 18歳人口の減少
    - 200万人(1990年)→120万人以下(2017)
  - 国内4年制大学の増加
    - 507校(1990)→779校(2015)
  - 国立大学法人への予算削減
    - 7年間で830億円の削減 →
  - 国際化の波
    - SGU, SGH, ...
- ⇒戦略的な思考・プランが必要



日本の高等教育の行方(筑波大学)

<http://www.tsukuba.ac.jp/students/campus/184/1.html>



# 大学を取り巻く環境の変化



## 2. 多様化する教職員の構成

### ① 非常勤・任期付き教員の増加

目的(文部科学省)

- 教員の流動性向上による教育研究の活性化
- 多様な経験を通じた若手教員の育成

引用: 大学教員の任期制(文部科学)

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/old\\_chukyo/old\\_daigaku\\_index/toushin/attach/1315829.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/old_chukyo/old_daigaku_index/toushin/attach/1315829.htm)

# 大学を取り巻く環境の変化

## 2. 多様化する教職員の構成

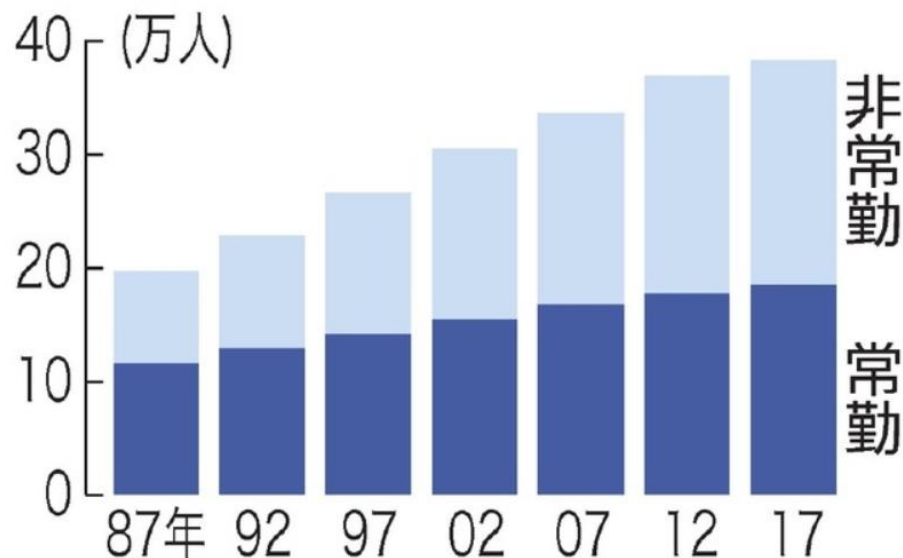
### ① 非常勤・任期付き教員の増加

#### 実態

- 半数は非常勤
  - 「自転車操業」
- ¼の常勤「期限付き」
  - 「特任」「特命」など

#### 大学の教員数の推移

文部科学省まとめ



引用: 大学教員、半数は非常勤 常勤も4分の1が「期限付き」  
2018年5月20日、朝日新聞。

# 大学を取り巻く環境の変化



## 2. 多様化する教職員の構成

### ② 外国人教員の増加

#### 国立大学を事例に

- 453人(1989)→2,053人(2013)
- 割合は、若い世代で最も高い(40歳以下)
- 「講師」以外の職階で増加(准教授や助教等)
- SGU(タイプA)の平均は24.5%(2013年5月)
  - 早稲田、慶応、東京医科歯科、東北、北海道...

⇒ 自分の価値を見出す必要性

\* 引用: 文部科学省「学校教員統計調査」に基づく

# 大学を取り巻く環境の変化



## 3. 「成果」を重要視する評価制度へ 「成果＝数値」の傾向 & 教員としての適応

- 研究
  - 「インパクトファクター」(論文数、機関誌ランキング)
  - 外部資金(科研費、民間研究費の額)
- 授業
  - 規模(履修者数、単位)
  - 指導(学生数、終了者数、主査・副査)
- その他
  - 学内運営(委員会の数、役職)
  - 学会(国内外、役職)



# 大学を取り巻く環境の変化



## 3. 「成果」を重要視する評価制度へ 教育の「質」をどう評価するのか

- 「異文化適応能力があがった」、「視野が広がった」は、数値化すべきなのか？
- 学生が大学で得た知識・ネットワーク・友情はどう数値化するのか？

問：教員はどうあるべきなのか？

問：どのような教員が求められているのか？

# 大学を取り巻く環境の変化



## 4. 期待される若手教員像(個人的な感想)

### 専門性＋ジェネラリスト

- 博士号を持っている
- 研究に対して熱心である
  - 外部資金を積極的に取る
- 「国際的な」マインドセット・スキルを持つ
  - 英語で授業・学内運営・海外交流ができる
- 如何なる新しい方針にも適応できる
  - 「ビジネス」マインドセット・スキルを持つ／学ぶ
- 終身雇用はないということを受け入れる
  - 組織の存続に危機意識を持つ

# 大学を取り巻く環境の変化



## 教員の研究に対する考えの変容

- 社会環境
    - 戦略的な思考・プランの確立
  - 教員の多様化
    - 自分の価値を見出すには
  - 評価制度
    - 「数値」の限界はあるが、それに適応する必要も
  - 期待される教員像
    - 専門性＋ジェネラリスト
- ⇒研究への考えはキャリアパスに影響
- ⇒キャリアパスとリポジトリの関連性



## 教員のキャリアパス

- 博士号を取得してからが始まり
- 自分の位置づけ
  - ① 終身雇用 vs. 非終身雇用
  - ② 東京 vs. 地方
  - ③ 日本 vs. 海外
  - ④ 研究型 vs. 授業型 vs. その他
- 非終身雇用者に伴う「不安」と「圧力」  
⇒自分の「インパクト」を強めるには？  
⇒世界に発信するには？



## 教員のキャリアパス

- 心がけていること
  - ① よい良い機関誌への投稿(英文)
    - 研究の「質」を向上
  - ② より生産性の高い共同研究
    - 研究の「量」を増加
  - ③ 時間を有効に使用
    - その他用務とのバランス
  - ④ 様々なチャンネルでの情報発信
    - 研究の「インパクト」を強化
    - 事例: 筑波大学のリポジトリ





## 事例：筑波大学のリポジトリ

- 筑波大学リポジトリ:  
<https://tsukuba.repo.nii.ac.jp/>
- 特徴(ウェブサイトから抜粋)
  1. 研究成果を無料で配信
  2. 大学ブランド力の強化
  3. TRIOS(研究者総覧)との連携
    - TRIOS: <http://trios.tsukuba.ac.jp/>
  4. 登録コンテンツのDL件数通知
    - 月に1回
    - コンテンツタイトル、URL、閲覧回数、DL回数



# 筑波大学のリポジトリ

- リポジトリの作業手順
  1. TRIOSにログイン
  2. 機能一覧「研究業績」をクリック
  3. 必要事項を記入
  4. ファイルをアップロード
  5. 終了
- 自分が始めたきっかけ
  - TRIOSで偶然発見

# 筑波大学のリポジトリ



- 利点

1. 便宜性

- 容易な操作
- 機関誌との確認作業は図書館が担当

2. 論文の可視化

- TRIOSとの連携で更に強化

3. 広い適応範囲

- ネット版のない機関誌も多々

4. 研究成果の分析

- コンテンツの統計
- 論文の人気ランキング

# 筑波大学のリポジトリ



## 検討をお願いしたい点

### 1. セミナー等の開催

- リポジトリを知らない教員もいる
  - 若手＋非終身雇用は興味のある教員が多い
  - 費用のかかる機関誌に投稿している場合は有益
- 説明会の開催
  - 英語セッション、東京キャンパスへの発信も
- リポジトリの活用方法
  - 自分や他教員の研究動向を知る
  - 「ビジネスマインドセット」を積極的に

# 筑波大学のリポジトリ

検討をお願いしたい点

## 2. リポジトリ使用時のヒント

- キーワード検索

- ずっと自分の名前を「全文検索」していました

- ZHU Yiで検索すると、4番目にヒット

- 朱藝だと、なかなかヒットしない

- 名前をクリックすると、他人の論文もヒットする

- 私の場合は、2件ヒット



# 筑波大学のリポジトリ



## 検討をお願いしたい点

### 3. DL用ファイル名とタイトル名の一致

– DL後、タイトルの変更が必要

問：改善は可能なのでしょうか？

### 4. リポジトリと他リンクの連携

– リポジトリからパーソナル・ページに飛ぶには？

– リポジトリ⇒TRIOSのリンク(逆方向はある)

– 科学技術総合リンクセンター(J-GLOBAL)とのリンク

– Academia.eduやResearch Gateとは？

# 筑波大学のリポジトリ



## 検討をお願いしたい点

### 5. ビックデータの活用(続き)

- ① これまでの利用統計データ総覧
- ② コンテンツDLの国別や検索キーワードの傾向
- ③ キーワード別DL数の比較
  - 例えば、同じ企業に対する研究でも、national cultureとcreativityではDL件数が倍違うことも
- ④ 相似したテーマを研究する学者の「推薦」
  - J-GLOBALで相似した機能を発見

# まとめ

- 大学を取り巻く環境の変化
- 研究に対する考えが変わってきている
- 教員のキャリアパスも研究への態度に影響
- キャリアパスとリポジトリは密接に関連
- 個人としての価値が重要
- リポジトリを通じた発信は非常に重要
- より戦略的なマインドセットが必要
- リポジトリ側からの積極的なアプローチを期待



ご清聴ありがとうございました。